

科目番号	52001	分類	基礎助産学	履修者	高度実践助産コース	学年	1	
科目名	助産学概論 (Introduction to Midwifery)					1		
						配当セスター 前期		
担当者	○橋本 美幸、宮崎 文子	区分	助産師免許取得プログラム	必修	単位	1	時間数	15
授業の概要および目標						学位授与の方針との関連		
【概要】 助産の基本概念および女性を取り巻く社会的背景を認識し、助産師の責務と心理、社会的変化の中で期待される役割と重要性について理解を深め、助産師としてのアイデンティティを獲得する。						○	1.自律して自然分娩の支援ができる能力	
【目標】 1. 助産の基本概念を理解し、助産師としてのアイデンティティ確立の動機とする。 2. 助産の歴史を理解しこれからのあり方を考察できる。 3. 助産学を構成する理論を理解する。 4. 助産師教育制度の変遷を理解しこれからのあり方を考えることができる。 5. リプロダクティブ・ヘルス/ライツの背景と現状を理解し今日的課題を知る。 6. 助産師の専門職性と業務を関連法規から理解する。 7. 助産師と倫理について理解し助産師の基本的態度を身につける（医療倫理特論を含む：必修）。						○	2.院内・院外助産システムを担うことができる能力	
						○	3.女性の生涯にわたる健康を支援できる能力	
						○	4.周産期の救急時に対応できる能力	
						○	5.他職種と連携・協働し、質の高い助産ケアを提供できる能力	
						○	6.研究・開発能力	
						○	7.倫理的意思決定能力	
授 業 計 画								
回	内 容						担当教員	
1回	高度実践助産コースのカリキュラムガイダンス（助産師業務との関連）						橋本	
2回	助産の基本概念						宮崎	
3回	助産の歴史（歴史の学習方法含む）とこれからの課題							
4回	助産学を構成する理論 研究と助産						橋本	
5回	助産師の専門職性と業務（関連法規）							
6回	女性のライフステージ各期の心身の特徴と健康課題 リプロダクティブ・ヘルス/ライツと今日的課題（世界・日本）							
7回	助産師教育制度の変遷と課題（世界・日本）							
8回	母子保健の動向と課題							
事前・事後学習	事前学習：各回の必須図書で該当する部分を読んでくる。 事後学習：配布資料を復習する。また、場合によってはレポートを課す。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に組み合わせること。							
評価の方法	筆記試験（90%）、レポート（10%） フィードバックは適宜行う。							
参考図書・資料等	◎助産学講座1 助産学概論 我部山キヨ子他 医学書院 2015 ◎助産学講座5 助産診断・技術学Ⅰ 堀内成子他 医学書院 2013 新助産学シリーズ 助産学概論；責任編集 青木康子、青海社、2013 ・資料は講義の都度配布する。 ◎は授業の必携図書ですので、購入していただきます。							
備考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。							